

経営比較分析表（令和6年度決算）

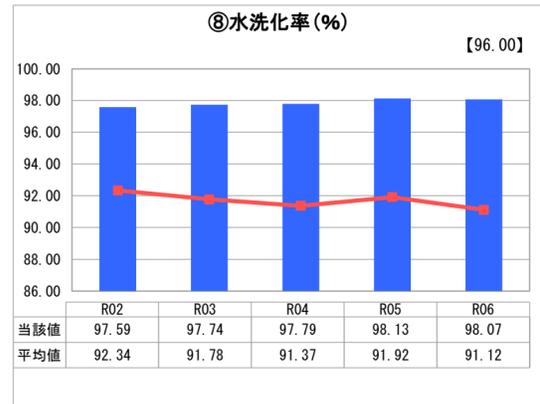
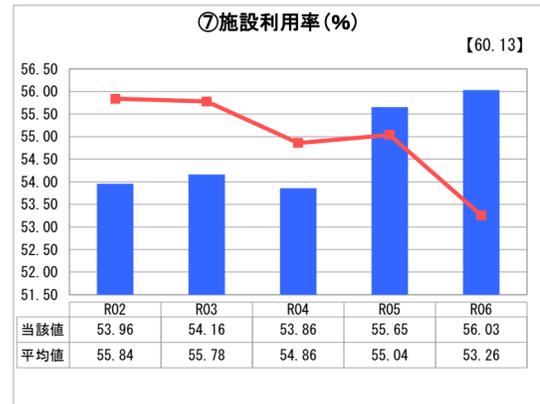
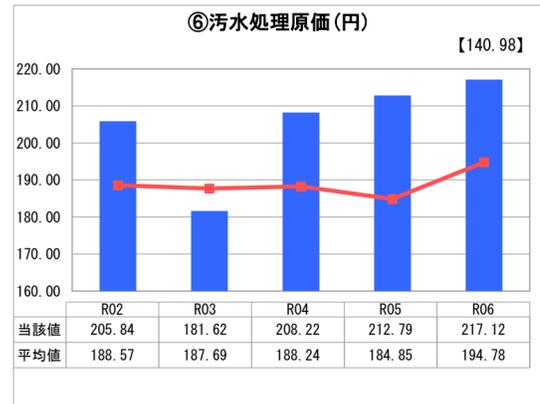
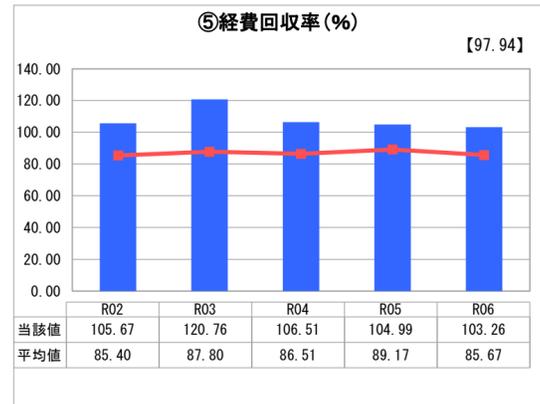
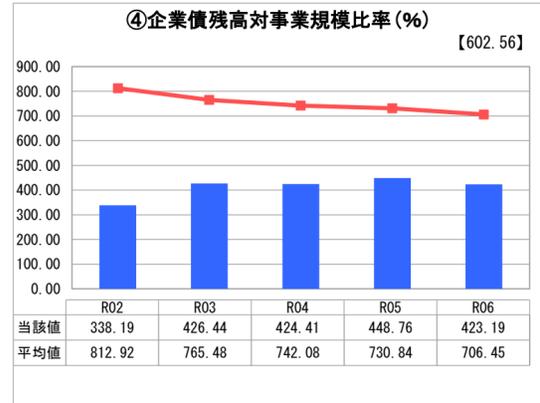
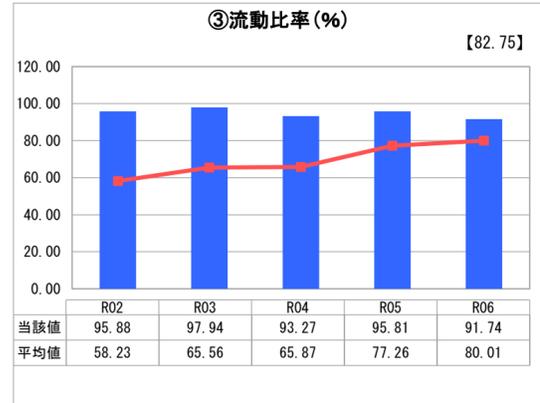
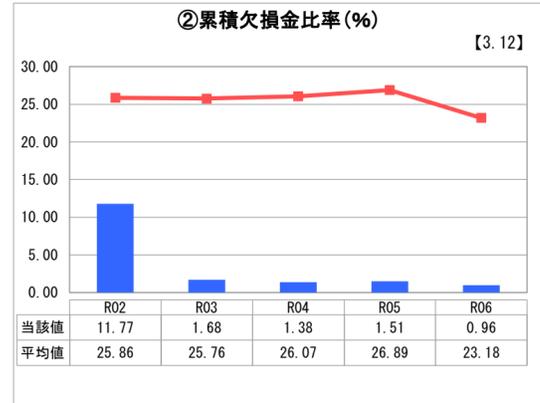
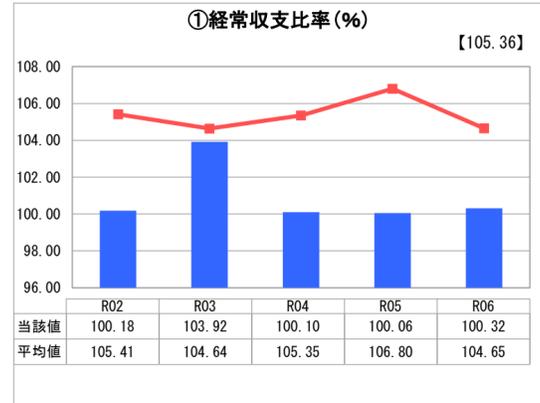
兵庫県 丹波市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Gd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	62.24	17.96	66.85	4,262

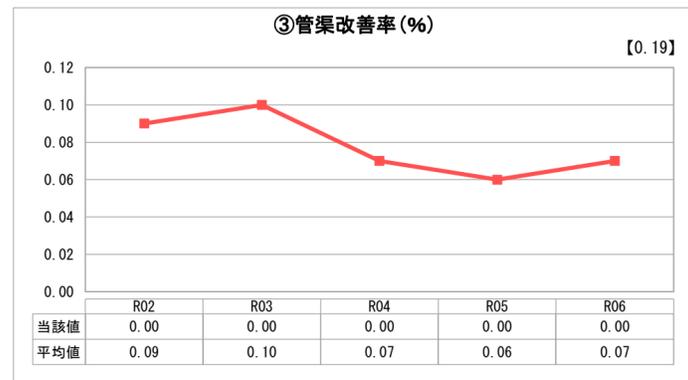
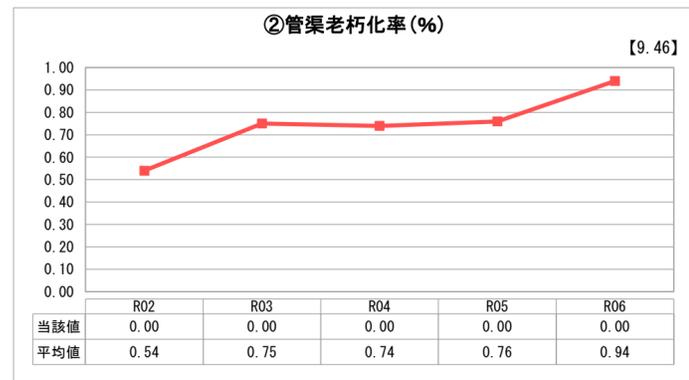
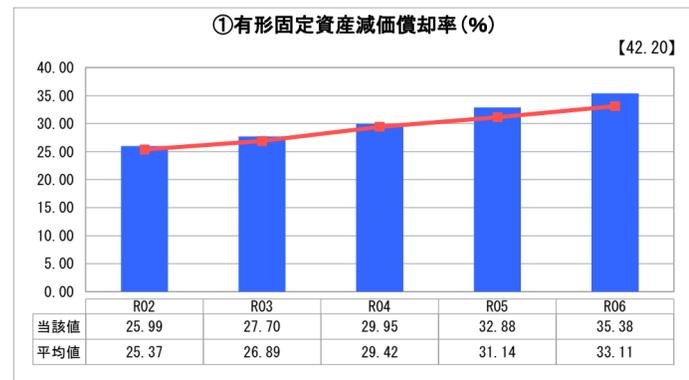
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,033	493.21	121.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,723	4.56	2,351.54

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、類似団体平均を下回っているが、経常収支は黒字を維持している。
- ② 累積欠損金比率は、類似団体平均を下回っているが0%でない。
- ③ 流動比率は、類似団体平均を上回っており、支払い能力は安定している。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、適正な事業規模(使用料収入)であることを示している。
- ⑤ 経費回収率は、令和2年度の料金改定の影響により類似団体平均を上回っている。
- ⑥ 汚水処理原価は、修繕費や動力費の高騰などの影響により増加傾向である。
- ⑦ 施設利用率は、全国平均に近づきつつある。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均より高く、これ以上の向上は望めない。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率及び管渠改善率は、耐用年数を経過した管渠がなく、ともに算定されていない。公共下水道の管渠延長97km(雨水管渠4km含)を有し、令和16年頃より順次耐用年数を経過するため、計画的な改築更新に向けて財源確保に取り組む必要がある。

全体総括

経営の効率性や財政の健全性を示す指標については、良好な数値であり、概ね健全な経営ができている。当市は兵庫県中東部の中山間地域に位置し、本州一低い中央分水界があり、下水道は北の日本海と南の瀬戸内海に流れる。こうした地理的要因により、多くの処理場、管渠及び中継ポンプ場を有しているため、ストック・マネジメント計画に基づき計画的に機械電気を更新するとともに、事業のスリム化を図るため、処理場の統廃合を進めている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。